

2014年、
F.I.H.ハーモニカコンテスト
第1位受賞！
クラシック、ポップス、ラテン、
映画音楽など
ジャンルをこえて
“クロマチックハーモニカ”の
新たな表現に挑戦する
山下伶のスペシャル
コンサート！

Rei Yamashita

山下伶

クロマチックハーモニカが
奏でる魅惑の世界

ハーモニカ・コンサート

●出演者

山下伶
(クロマチックハーモニカ)
鈴木孝彦(ピアノ)
越田太郎丸(ギター)

●予定曲目

パリの空の下
リベルタンゴ
ひまわり
エル・クバンチェロ 他

公演日程(2024年)

11月30日(土) 開演3:00p.m. 三沢市公会堂
(開場2:30p.m.)

12月1日(日) 開演3:00p.m. 弘前市民会館
(開場2:30p.m.)

入場
料金 ¥4,600(会員料金:¥4,100)<税込>

※小学生未満のお子様(乳幼児)のご入場は固くお断りいたします。
※小学生以上のお子様は入場券が必要です。

主催:MIN・ON、エフエム青森 後援:陸奥新報社[弘前公演]

お問い合わせ:MIN-ON仙台 ☎022(355)4772

チケットのお求めは

【三沢】三沢市公会堂 ☎0176(53)8711

【弘前】弘前市民会館 ☎0172(32)3374

さくらミュージック(さくら野百貨店内) ☎0172(28)1171

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

ローソン・ミニストップ店頭Loppi[Lコード:22344]

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

セブン-イレブン店頭[Pコード:278-625]

9/14(土)10:00a.m.より
チケット一般発売開始!



夢と可能性が詰まった楽器
“クロマチックハーモニカ”
の魅力

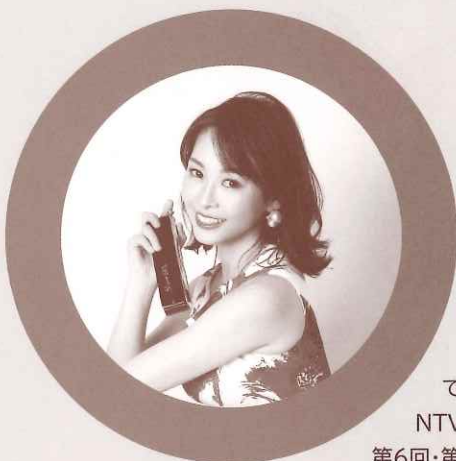
ポケットに入るほど小さな楽器、ハーモニカ。

日本では、大正から昭和にかけて、ハーモニカ・バンドの興隆や、音楽教育によってハーモニカが普及されるなど、身近で親しまれる楽器となりました。“ハーモニカ”と聞けば、どこか懐かしく哀愁たがえるような音色で癒されるという方も多いでしょう。

山下伶が演奏する「クロマチックハーモニカ」は、「クロマチック (Chromatic = 半音階の)」という名の通り、# (シャープ) や b (フラット) の音を出すことができるのが特徴です。音域は4オクターブを超え、従来のハーモニカよりも広く、64の音を一本で出すことができます。ジャズ、ポップス、タンゴ、演歌、童謡など、小さな一本で様々なジャンルの曲も演奏することができ、とても表現力豊かな楽器です。

またハーモニカは吹いたり吸ったりすることで音が出るので、人それぞれ声が違うように、奏者の個性により音色が変わるのも大きな特徴です。

山下伶は、「“クロマチックハーモニカ”は、夢と可能性が詰まった魅力的な楽器」と語っています。今回のステージでは、ピアノとギターも加わって、これまでのハーモニカのイメージを一新する機会となるでしょう。



山下 伶 / クロマチックハーモニカ

Rei Yamashita / Chromatic Harmonica

埼玉県春日部市出身。横浜市在住。

桐朋学園芸術短期大学音楽専攻(フルート)卒業。

卒業後クロマチックハーモニカの音色に魅せられ、クロマチックハーモニカ奏者の徳永延生氏に師事。2014年 第34回F.I.H.ハーモニカコンテスト クロマチック・ソロ/クラシック部門1位、ジャズ・ポップス部門 1位、アンサンブル小編成部門 1位。同大会にて総合グランプリ獲得。

2016年7月、ビクターエンタテインメントよりアルバム『Beautiful Breath』でメジャーデビュー。今までに6枚のアルバムをリリースし、収録オリジナル曲が、NTV系『news every.』お天気コーナーテーマソングに3度採用される。

第6回・第7回 ソウル国際ハーモニカフェスティバルにて審査員、ゲストプレイヤーとして参加。

アルバム『Candid Colors』が韓国のレーベルSantoki Musicからリリース。

出身地、埼玉県春日部市に2019年4月開校した春日部南中学校の校歌の作詞、作曲を担当。ジャズ専門誌 JAZZ JAPAN AWARD 2018制作企画賞受賞。テレビ朝日系『じゅん散歩』『題名のない音楽会』出演。

今までに寺井尚子、藤澤ノリマサ、NAOTO、吉田栄作、クミコ、『銀河鉄道999』シンフォニック・コンサートにて、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。

東方神起、林部智史、松本英子、『ファイナルファンタジー III』発売 30周年記念アナログレコード『FINAL FANTASY III-Four Souls-』等のレコーディングに参加。

2023年セルフプロデュースアルバム『Good Time Good Music』を日本コロムビアよりリリース。



鈴木 孝彦 / ピアノ

Takahiko Suzuki / Piano

ピアニスト、作曲家。東京音楽大学大学院修了。

2019年、オリジナルピアノソロアルバム『イヌとひまわり』発売。タワーレコード渋谷店CLASSICALウィークリー第1位、TSUTAYA月間イージーリスニング第1位。別名「うにピアニスト」としてはYouTubeでの演奏動画は計約400万回再生されている。



越田 太郎丸 / ギター

Taroma Koshida / Guitar

9歳からギターを始める。大学時代より各種イベントに出演。

ユニット『Prismatica』のギタリストとして1997年にCDデビューしベスト盤を含む7枚のアルバムをリリース。ブラジル音楽を軸に演奏活動を展開しており、ギター以外にカバキニーニョ、チャランゴ、ウクレレ、フラットマンドリンなども演奏。

これまでに中森明菜、岩崎宏美、辛島美登里、姿月あさと、石丸幹二、葉加瀬太郎、Le Velvets、瀬木貴将、NAOTOなど様々なアーティストのライブサポートやコンサートツアー、レコーディングに参加。

最新作はギター独奏によるアルバム『Twenty Years / 越田太郎丸』。